

## 介護職員等特定処遇改善加算に関わる情報公開について（縁 JOY）

### 縁 JOY における処遇改善加算 算定状況

- ・介護職員処遇改善加算Ⅰ・介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 算定
- ※通所介護 健康増進倶楽部縁 JOY は介護職員等特定処遇改善Ⅱを算定

### 「介護職員等特定処遇改善加算」とは

介護職員の処遇改善につきましては、これまで数次にわたる取り組みが行われてきました。令和元年10月の消費税引き上げに伴う介護報酬改定において、「介護職員等特定処遇改善加算」が創設されました。当法人におきましても加算算定を行っております。

当該加算算定のために、下記の要件を満たしている必要があります。

#### 【介護職員等特定処遇改善加算の算定要件】

- ・ 現行の処遇改善加算Ⅰ～Ⅲを算定していること
- ・ 現行加算の職場環境等要件に関し、複数の取組を行っていること
- ・ 現行加算に基づく取組についてホームページへの掲載等を通じた見える化を行っていること

### 職場環境要件の提示について

以上の要件に基づき、当事業所における処遇改善に関する具体的な取り組み（賃金以外）の内容を下記に提示します。

	職場環境要件項目	当事業所としての取り組み
入職促進に向けた取り組み	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	理念や事業目標、年間研修計画を載せた事業計画書を全職員に配布しているほか、キャリアパスを掲示している。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	年齢や経験を問わず、介護に対する意欲のある人材の採用、非常勤職員については希望時間帯での雇用を行っている。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	近隣小学校への福祉教育の実施、近隣中学校からの職場体験の受け入れ、地域へ向けた秋祭りの開催などを行っている。
資質の向上やキャリアアップに向	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、	法人内で実務者研修を行っているほか、事業所内での喀痰吸引の実地研修を行っている。

けた支援	サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む）	資格取得を奨励し、複数の資格取得所持者には重複して資格手当が出るようになっている。 勤務シフトを考慮し、職員が研修や試験を受けやすい環境を整えている
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	人事考課制度を導入し、年二回の人事考課を実施している。
	新人介護職員の早期離脱防止のためのエルダー・メンター（新人指導担当者）制度 導入	新人職員入職時には、先輩職員がエルダーとして指導を担当し、悩みを相談しやすい環境作りを行っている
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育休の取得を奨励しているほか、事業所内保育園があり、職員の子どもを預けることができる（男性職員の育休取得事例も複数あり）
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	非正規職員から正規職員への転換を奨励している（転換事例あり）
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	ゆとりある職員配置を行い、有休をとりやすい環境を整備している（有給取得率 70%以上）
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	あじさいメイツに加入しており、様々な割引サービスや助成金あり。産業医の設置、衛生委員会の設置あり。法人内での相談窓口の設置のほか、行政サービスの相談窓口紹介を行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策の実施	特殊浴槽やリフト浴を導入し、職員の腰痛対策等の負担軽減を図っている
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	全職員への健康診断・ストレスチェックの実施を行っている。 休憩室のほか、
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	各種マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備し、責任の所在を

		明確化している
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	タブレットや介護ソフト導入による記録の電子化、情報共有の効率化を行っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	各業務のマニュアル作成、事故報告書などの電子化を進めている。
やりがい・働きがいの構成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定期的にユニットミーティング、リーダー会議を実施し、職員の気づきを話し合いでき、意見を吸い上げられる環境を整え、勤務環境やケア内容の改善を図っている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域の小学校との交流会、お祭り等の開催による地域交流を積極的に行っている
	利用者本位の支援方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	全体会を実施し、理念や事業目標を共有しているほか、法人研修を開催している。
	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	日々のケース記録を家族公開しており、それに対して家族よりコメントを頂けるシステムを導入しており、家族のコメントを介護職員が見れるようになっている。